Kenko
We open. The world of imagination.

pixmo DSC180

取扱説明書

このたびは、デジタルカメラ「DSC180」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

はじめに ご使用前にお読みください

■結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
■著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
■本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
■本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
■本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
■本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。
■本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。
■本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。
■製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
■本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
■カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
■液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。使用部品メーカーの保証値となりますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安全上の注意 必ずお読みください

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

⚠ 危険	この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。
⚠ 警告	この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠ 危険

■可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
■本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。
■本製品を高温の場所(真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど)で使用、保管しないでください。

⚠ 警告

■本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。
■目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離(1メートル以内)でフラッシュを発光させないでください。
■本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。
■本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
■本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
■カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
■感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。
■カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
■本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。
■小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。
■ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
■ポリ袋(包装用)などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

⚠ 注意

■本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
●砂、ほこり、ちりの多い場所 ●火の近く ●湿ったところ ●振動の激しい場所 ●温度・湿度の変化が激しい場所
■車内は、湿度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。
■カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
■レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
■電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
■本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
■本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。
■付属のCD-ROMはパソコン専用のソフトです。音楽用CDプレイヤーで再生することはしないでください。聴覚障害を引き起こす恐れがあります。
■ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

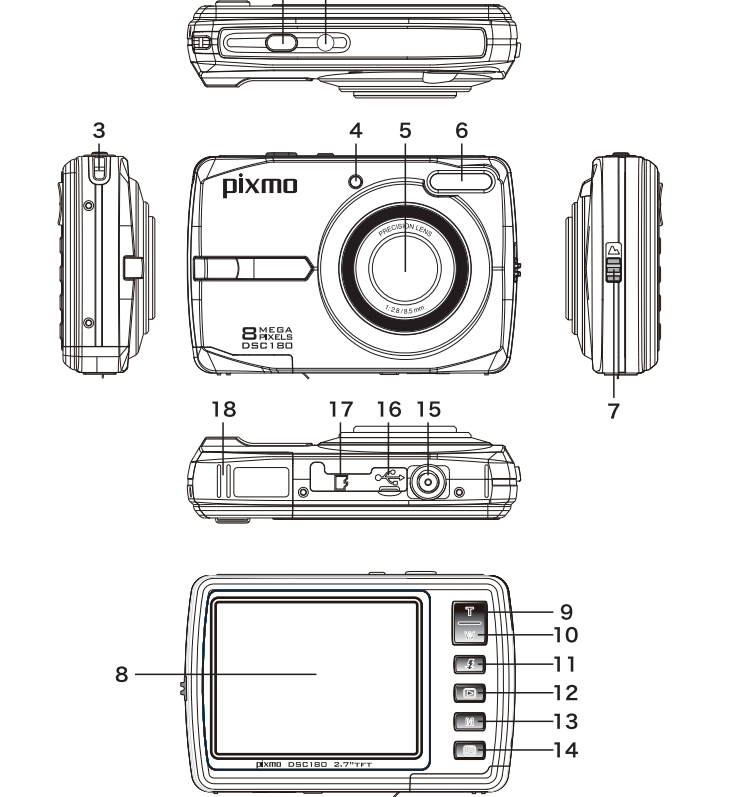
■電池は、一般的に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
■撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
■本製品のレンズや液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。汚れたままですと、鮮明に撮影することができません。
■ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。

セット内容

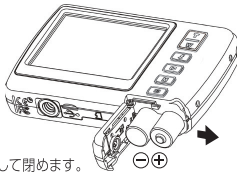
下記のセット内容が揃っているかどうか、ご確認ください。

● デジタルカメラ本体
● 単4形アルカリ乾電池(2本)
● USB-PC接続ケーブル
● ストラップ
● ポーチ
● 取扱説明書(本書)

はじめに

各部の名称

1. シャッター/OKボタン
2. 電源ボタン
3. ストラップ取り付け穴
4. LED表示灯
5. レンズ
6. 内蔵フラッシュ
7. マクロスイッチ
8. 液晶モニター
9. 上/Tボタン
10. 下/Wボタン
11. 左/フラッシュボタン
12. 右/再生ボタン
13. モードボタン
14. メニューボタン
15. 三脚取り付け穴
16. USB端子
17. microSDカードスロット
18. 電池カバー

電池の取り付け

1. カメラの電源をオフにします。
2. 電池カバーを、右図の矢印方向にスライドして開きます。
3. 電池の+側ー側を確認し、単4形アルカリ乾電池またはニッケル水素充電池2本を正しい方向でセットします。
4. 電池カバーを電源ボタン方向に押しながら、矢印と反対方向にスライドして閉めます。

●電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
●電池は+ー方向に注意し、正しくセットしてください。

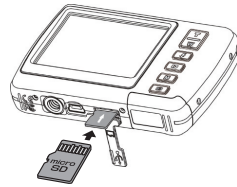
◆電池残量については、液晶モニター上のバッテリーアイコンに表示されます。
 電池の残量は充分です。
 電池の残量は半分程度です。
 電池の残量が少なくなっています。
 「電池の残量がありません。」と表示されます。電池を交換してください。
◆単4形アルカリ乾電池またはニッケル水素充電池をご使用ください。
ニッケル水素充電池を使用した場合、電池残量表示が均等に表示されませんのでご注意ください。
◆電池残量表示は目安になります。
残量が一目盛になりましたら予備の電池を準備してください。
◆電池をカメラの中に入れたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。
カメラを長期間(およそ1ヶ月以上)使用しないときは電池を取り出してください。
◆カメラの操作に必要な電源を得ることができないマンガン電池は、使用できません。
◆電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
カメラを長時間使用すると電池およびカメラの本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

microSD/SDHCカード(別売)を使用する

microSDカード(別売)をカメラ底面のmicroSDカードスロットにセットして撮影すると、撮影したファイルは自動的にmicroSDカードに記録されます。

●このカメラに使用できるメモリーカードは、microSDHCカード(32GBまで)です。
その他の種類のカードを使用しますと製品及びカードが故障する可能性があります。
●すべてのmicroSDカードで動作を保証するものではありません。

microSD/SDHCカード(別売)の取り付け

microSDカードは、カメラ底面にあるmicroSDカードスロットにセットします。

1. カメラの電源をオフにします。
2. カメラ底面のmicroSDカードスロットに、microSDカードを挿入する方向を確認してから、カチッと音がするまで押し込みます。(microSDカードを取り出すときも、カチッと音がするまで少し押し込んでから取り出します)

◆新しいmicroSDカードを使用される際は、あらかじめmicroSDカードのフォーマット(「microSDカードのフォーマット」参照)をしてください。
◆差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。

●microSDカードをカメラ本体から出し入れする場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
●データをパソコンに転送している最中に、microSDカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、microSDカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。

microSD/SDHCカードのフォーマット

メモリーをフォーマット(初期化)する機能です。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 左/フラッシュまたは右/再生ボタンを押して、「設定モード 」を表示します。
4. 上/Tまたは下/Wボタンを押して「フォーマット」を選択し、シャッター/OKボタンを押します。
5. 上/Tまたは下/Wボタンを押して「はい」を選択し、シャッター/OKボタンを押して決定します。
6. メニューボタンを押して撮影モードに戻ります。

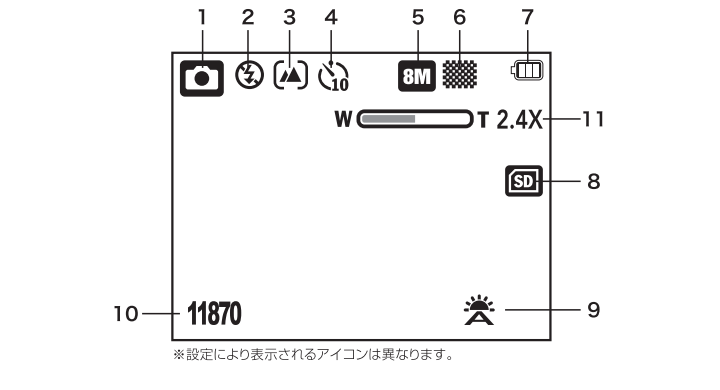
●microSDカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
●フォーマットを行うとmicroSDカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
●microSDカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません)
●保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されます。
●フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。

電源のオン／オフ

電源ボタンを約1秒押すと、カメラの電源がオンになります。
再度電源ボタンを約1秒押すと、カメラの電源がオフになります。

◆はじめてお使いの場合、最初に日付／時刻を設定してください。
◆一定時間以上カメラを使用しない時間が続くと、自動的にカメラの電源がオフになります。「オートパワーOFF」をご覧ください。

静止画モード

液晶モニターの表示

※設定により表示されるアイコンは異なります。

1. 静止画モード
2. フラッシュモード
3. フォーカスモード
4. セルフタイマーモード
5. 静止画サイズ
6. 画質
7. 電池残量
8. microSDカードのセット
9. ホワイトバランス
10. 撮影可能枚数(目安)
11. ズーム倍率表示

静止画の撮影

静止画を撮影します。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターで被写体を捉えます。必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
3. カメラをしっかり構えて、シャッター／OKボタンを押して撮影します。

◆暗い場所、動きの速い被写体はブレる場合があります。
◆乗り物など動いているものから写真を撮る場合や、動いている被写体を撮る場合、被写体が歪む場合があります。

ズーム撮影

カメラには4倍のデジタルズームが搭載されています。

1. 上／Tボタンを押すと、デジタルズームがズームイン(拡大)します。
2. 下／Wボタンを押すと、デジタルズームがズームアウト(縮小)します。

◆デジタルズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。
◆ズーム倍率は液晶モニターに表示されます。

内蔵フラッシュ撮影

左／フラッシュボタンを押して、フラッシュモードを設定します。

ϟA	自動	被写体周辺の光量が不足している場合、自動的にフラッシュが発光します。
ϟ	強制発光	どんな状況でもフラッシュが発光します。
⊘	発光禁止	どんな状況でもフラッシュが発光しません。

〈フラッシュの有効範囲〉
約1.2m〜1.6m

◆電池残量が少ない場合、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。
◆静止画のみの機能です。
◆電源をオフにすると、発光禁止に戻ります。
◆フラッシュの充電中は、撮影できません。
◆マクロ(近接)モード時発光禁止になります。

マクロ(近接)モード

マクロ(近接)モードを使用すると、文字や草花などの小さな被写体にピントを合わせることができます。詳細は「撮影距離」をご覧ください。

撮影距離

マクロスイッチを切り替えて撮影距離を合わせます。
正しい撮影距離で撮影されていない場合、ピントが合いませんのでご注意ください。

フォーカスモード	撮影距離
通常モード ▲	約 0.5m ～ ∞
マクロ（近接）モード ✿	約 11cm ～ 18cm

静止画メニュー

静止画モードの基本設定を行います。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。「静止画メニュー」が表示されます。
3. 上／Tまたは下／Wボタンを押して項目を選択し、シャッター／OKボタンを押してサブメニューを表示します。
4. 上／Tまたは下／Wボタンを押してサブメニューを選択し、シャッター／OKボタンを押して決定します。
5. メニューボタンを押して、撮影画面に戻ります。

静止画サイズ

撮影する静止画のサイズを設定します。(初期設定:8M)

16M　：約1600万画素(ソフトウェア補間)
8M　：約800万画素
5M　：約500万画素
3M　：約300万画素
VGA　：約30万画素(e-mail等の添付に適します)

◆サイズが大きいほど高画質ですが、ファイル容量が大きくなり、同じmicroSDカードに保存できる枚数が少なくなります。

画質

撮影する静止画の画質(圧縮率)を設定します。(初期設定:高画質)

超高画質：超高画質
高画質　：高画質
標準　　：標準

◆高画質なほどファイル容量が大きくなり、同じmicroSDカードに保存できる枚数が少なくなります。

測光方式

撮影する測光方式を設定します。(初期設定:マルチ測光)

中央測光　：中央部周辺を重点的に測光します。
マルチ測光　：全体的に測光します。
スポット測光：中央部を部分的に測光します。

ホワイトバランス（初期設定：自動）

自動での色調が思わしくない場合、様々な被写体周辺の状況に応じてホワイトバランスを調整し、希望の色調に近づけます。

自動　：自動で調整します。
太陽光　：屋外の晴天時での撮影に適しています。
曇り　：屋外の曇天時、日陰での撮影に適しています。
白熱球　：室内の白熱灯下での撮影に適しています。
蛍光灯　：室内の蛍光灯下での撮影に適しています。

ISO感度（初期設定：自動）

撮影時のISO感度を設定します。感度を上げる(数字を大きくする)と暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増えて画質が低下します。感度を下げるとノイズの少ない画質になりますが、多くの光量を必要とします。

自動　：自動で調整します。
100　：屋外での晴天時での撮影に適しています。
200　：屋外での雲天時、または明るい室内での撮影に適しています。
400　：屋外での雲天時、または光量の少ない室内でのフラッシュを発光しての撮影に適しています。
800　：光量の少ない状況下でフラッシュを発光しない撮影に適しています。

◆上記説明はあくまでも目安です。撮影結果を確認しながら、撮影状況に合わせて設定してください。

露出補正（初期設定：0.0）

手動で露出値を変更する場合に使用します。被写体の撮影結果が暗く潰れる場合は+側(明るく)に補正し、明る過ぎる場合は−側(暗く)に補正します。−2.0から+2.0EVまで(1/3EVステップ)間で調整できます。

セルフタイマー（初期設定：オフ）

セルフタイマーを設定します。

オフ　：設定しません。
オン　：シャッター／OKボタンを押してから約10秒後に撮影します。

◆オンに設定するとLED表示灯がゆっくりと点滅します。
点滅が早くなると約1秒後に撮影します。

シャープネス（初期設定：標準）

撮影する静止画の鮮鋭度を設定します。

ハード　：シャープな静止画に仕上がります。
標準　：効果を加えません。
ソフト　：ソフトな静止画に仕上がります。

色効果（初期設定：標準）

色効果を加えることで、印象の異なる写真にします。

標準　：効果を加えません。
白黒　：白黒画像にします。
セピア　：セピア画像にします。
ネガ　：ネガフィルム風な写真にします。
トイカメラ：トイカメラ風な写真にします。
スケッチ風：スケッチ風の写真にします。
赤色　：赤色フィルターのような効果を加えます。
緑色　：緑色フィルターのような効果を加えます。
青色　：青色フィルターのような効果を加えます。
ビビッド　：色味をはっきりと強調します。

日付プリント（初期設定：オフ）

撮影する静止画に日付をプリントします。

オフ　：プリント時に日付／時刻を加えません。
オン　：プリント時に日付／時刻を加えます。

プレビュー（初期設定：オン）

静止画を撮影した直後、撮影した静止画を約1秒間表示します。

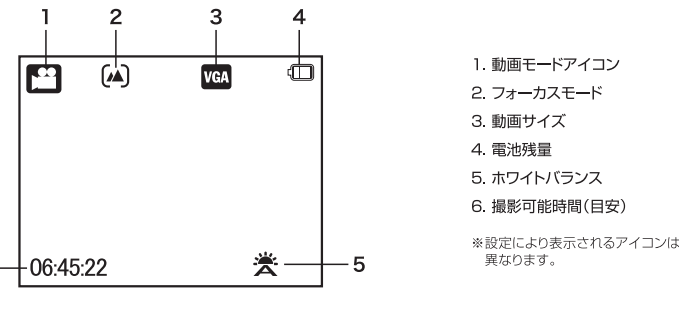
オフ　：自動表示を無効にします。
オン　：自動表示を有効にします。

動画モード

動画を撮影します。モードボタンを押して、動画モードにします。

液晶モニターの表示

1. 動画モードアイコン
2. フォーカスモード
3. 動画サイズ
4. 電池残量
5. ホワイトバランス
6. 撮影可能時間(目安)

※設定により表示されるアイコンは異なります。

動画の撮影

動画を撮影します。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押して、動画モードに切り替えます。
3. シャッター／OKボタンを押して、撮影を開始します。
右／再生ボタンを押すと一時停止します。再度、右／再生ボタンを押すと、録画を再開します。
4. 再度、シャッター／OKボタンを押すと、撮影を終了します。

動画メニュー

動画モードの基本設定を行います。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押して、動画モードに設定します。
3. メニューボタンを押します。「動画メニュー」が表示されます。
4. 上／Tまたは下／Wボタンを押して項目を選択し、シャッター／OKボタンを押し、サブメニューを表示します。
5. 上／Tまたは下／Wボタンを押してサブメニューを選択し、OKボタンを押し決定します。
6. メニューボタンを押して、撮影画面に戻ります。

動画サイズ（初期設定：VGA）

撮影する動画サイズを設定します。

VGA　：640 × 480
QVGA：320 × 240

◆サイズが大きいほど高画質ですが、ファイル容量が大きくなり、同じmicroSDカードに保存できる時間が少なくなります。

ホワイトバランス

静止画メニューのホワイトバランスをご覧ください。

再生モード

液晶モニターの表示（静止画）

1. 再生モードアイコン
2. 表示ファイル／全ファイル数
3. 静止画サイズ

※設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画ファイルの再生

静止画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. 右／再生ボタンを押します。
3. 左／フラッシュまたは右／再生ボタンを押して、静止画ファイルを選択します。

再生ズーム

静止画ファイルの一画面表示中、画像を拡大表示することができます。

1. 静止画ファイルを表示します。
2. 上／Tボタンを押して拡大表示します。
3. 左／フラッシュまたは右／再生ボタンを押して左右へ、モードまたはメニューボタンを押して上下に拡大範囲を移動します。
4. 下／Wボタンを押して1倍に戻ります。

◆静止画ファイルのみの機能です。
◆最大4倍まで拡大表示できます。

動画ファイルの再生

動画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. 動画ファイルを表示します。
2. 上／Tボタンを押して、動画ファイルの再生を開始します。
   再生中、右／再生ボタンを押すと早送り、左ボタンを押すと早戻しします。
3. 再生中、上／Tボタンを押すと、再生を一時停止します。
   再度、上／Tボタンを押すと、再生を再開します。
4. モードボタンを押すと、動画ファイルの再生を終了します。

サムネイル表示

ファイルの一画面表示中、下／Wボタンを押すと9分割のサムネイル表示に切り替わります。
ファイルを素早く探すことができ、大変便利です。

1. 左／フラッシュまたは右／再生ボタンを押して左右へ、上／Tまたは下／Wボタンを押して上下に桃色枠を移動して選択し、シャッター／OKボタンを押すと一画面表示に戻ります。

削除

不要なファイルを削除します。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. メニューボタンを押します。「削除」メニューが表示されます。上／Tまたは下／Wボタンを押して「全て」または「一枚」を選択してシャッター／OKボタンを押します。

全て　：すべてのファイルを削除します。
一枚　：選択したファイルを削除します。

4. 削除しますか？が表示されます。上／Tまたは下／Wボタンを押して下記のいずれかを選択してシャッター／OKボタンを決定します。

はい　：削除します。
いいえ：削除しません。

再生メニュー

再生モードの設定をします。

1. 電源ボタンを押して電源をオンにします。
2. 右／再生ボタンを押します。
3. メニューボタンを約2秒以上長押しします。「再生」メニューが表示されます。
   静止画専用メニューは、静止画表示時にメニューボタンを長押しします。
4. 上／Tまたは下／Wボタンを押してサブメニューを選択しシャッター／OKをボタンを押します。
5. 上／Tまたは下／Wボタンを押して選択し、シャッター／OKをボタンを押して決定します。

保護

ファイルの誤削除を防ぐためファイルを保護します。

一枚　　　：選択したファイルを保護します。
全て保護　：すべてのファイルを保護します。
全て保護解除：すべてのファイルの保護を解除します。

削除

不要なファイルを削除します。操作方法は上記「削除」と同様です。

スライドショー

メモリーに記録されている全ての静止画を、一定の間隔で表示します。

1. 上／Tまたは下／Wボタンを押して間隔（表示時間）・方法（表示切換）・繰り返しの各項目を選択して、右／再生ボタンまたは左／フラッシュボタンで設定します。
2. 各設定後、開始を選択してシャッターボタンを押します。スライドショーが開始されます。
3. スライドショーを終了する場合は、再度シャッターボタンを押します。再生画面に戻ります。

◆静止画専用の機能になります。

効果

撮影した静止画を編集（色効果を加える）し、印象の異なる写真にします。

白黒　：白黒画像にします。
セピア：セピア画像にします。
ネガ　：ネガ画像にします。
モザイク：全体をモザイク画像にします。
赤色　：赤色フィルターを装着したような効果を加えます。
緑色　：緑色フィルターを装着したような効果を加えます。
青色　：青色フィルターを装着したような効果を加えます。

◆静止画専用の機能になります。
◆編集された静止画は別ファイルとして保存されます。

サイズ変更

撮影した静止画のサイズを変更します。

16M、8M、5M、3M、VGAに変更します。大きいサイズにする場合は、ソフトウェア補間になります。

◆静止画専用の機能になります。
◆VGAサイズは、e-mail等の添付に適したサイズになります。

設定モード

設定メニュー

カメラの基本設定を行います。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 左／フラッシュまたは右／再生ボタンを押して、「設定」メニューを表示します。
4. 上／Tまたは下／Wボタンを押して項目を選択し、シャッター／OKボタンを押します。
5. 上／Tまたは下／Wボタンを押してサブメニューを選択し、シャッター／OKボタンを押して決定します。
6. メニューボタンを押して、撮影画面に戻ります。

ビープ音（初期設定：オン）

カメラの操作音を設定します。

オフ：ビープ音を無効にします。
オン：ビープ音を有効にします。

◆ビープ音をオフ設定にしますと、シャッター音もオフになります。

電源周波数（初期設定：50Hz）

撮影の地域によって正しい電源周波数を選択し、蛍光灯のチラツキを抑制します。

50Hz：電源周波数を50Hzに設定します。
60Hz：電源周波数を60Hzに設定します。

◆日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。

自動電源オフ（初期設定：3分）

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のためカメラの電源が自動的にオフになります。

オフ　：自動電源オフ機能を無効にします。
1分　：1分間操作しないと電源が自動的にオフになります。
3分　：3分間操作しないと電源が自動的にオフになります。

Language（言語）（初期設定：日本語）

モニターに表示する言語を設定します。下記の7種類の言語を選択できます。

日本語・英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・スペイン語・ポルトガル語

日付／時刻

日付と時刻の設定を行います。

1. 上／Tまたは下／Wボタンを押して数値を調整します。
2. 右／再生ボタンを押して項目を移動します。項目を戻る場合は、左／フラッシュボタンを押します。
3. 年月日の表示順序を上／Tまたは下／Wボタンで選択し、シャッター／OKボタンを押して決定します。

◆日付／時刻は、リセットしても戻りません。
◆日付／時刻は、静止画・動画共にファイルデータとして記録されますので、できるだけ正確に設定してください。

フォーマット

microSD／microSDHCカードのフォーマットをご覧下さい。

リセット

カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。

はい　：工場出荷時の設定に戻します。
いいえ：工場出荷時の設定に戻しません。

Ver.

カメラの情報を表示します。

静止画のプリント

プリンターとの接続

付属のUSB-PC接続ケーブルでカメラとプリンターを接続してダイレクトプリントができます。

◆カメラとプリンターを接続すると、カメラの液晶モニターはオフになります。プリンター側の液晶モニターで静止画ファイルを選択して、各種の設定できる機種に限ります。
◆お使いのプリンターにSDカードスロットがある機種では、microSDカードをセットしてプリントもできます。
◆お使いのプリンターの取扱説明書をご覧ください。
◆すべてのダイレクトプリント対応プリンターでの動作を保証するものではありません。

パソコンからプリント

付属のUSB-PC接続ケーブルでパソコンと接続またはmicroSDカードリーダー（別売）を使用して画像データを取り込み、パソコンよりプリンターへ出力してください。

◆microSDカードをカメラ店等へ持参してプリントする方法もあります。カメラ店等へご相談ください。

パソコンとの接続

パソコンに接続する

1. カメラとパソコンの電源をオンにします。
2. 付属のUSB-PC接続ケーブルの小さいUSB端子（ミニUSB）を、カメラのUSB端子に接続します。
3. もう一方のUSB端子（大きい）をパソコンに接続します。カメラの液晶モニターは自動的にオフになります。はじめて接続した場合、パソコンのモニターに「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています。」と小さく表示され、しばらくして「デバイスを使用する準備が出来ました。」と表示されます。
4. 「スタート」→「コンピューター」→「リムーバブルディスク」→「DCIM」→「100MEDIA」の順にクリックします。「100MEDIA」に静止画・動画ファイル（IMGXXXX）があります。

◆USBハブや拡張USBポートで接続した場合、カメラが認識されなかったり、エラーメッセージが表示されることがあります。
◆お使いのコンピューターにより表示が異なる場合があります。
◆USB-PC接続ケーブルを外す場合は、各OSに適した安全な方法で行ってください。
◆リムーバブルディスク内のフォルダ名およびファイルの名前は変更しないでください。
◆パソコン初心者がご使用になる場合、及びパソコンが不安定な場合、SDカードリーダー（別売）の使用をお勧めします。
◆パソコンとの接続はサポート外となります。あらかじめご了承ください。

パソコンで再生する

静止画・動画を再生します。

1. カメラとパソコンを付属のUSB-PC接続ケーブルで接続します。
「パソコンに接続する」をご覧ください。
2. 対応OS（パソコンの動作環境をご覧ください。）で、すべての静止画が再生できます。
同様に対応OSに標準装備の「Windows Media Player」で動画が再生できます。

トラブルシューティング

こんなときは

症　状	原　因	対　策
カメラの電源が入らない。	電池の挿入方向は間違っていませんか?	電池の+ −を確認し、正しい方向で挿入してください。
	電池残量は充分ですか?	新しい単４形アルカリ乾電池に交換してください。
シャッターを押しても写真が保存されない。	microSD カードは正しくフォーマットされていますか?	設定モードからメモリーのフォーマットを行ってください。
パソコンとの接続時、リムーバブルディスクが見つからない。	ケーブルは正しく接続されていますか?	全てのケーブルが正しく接続されているかどうか確認し、必要に応じてコンピュータを再起動させてください。
フラッシュが作動しない。	電池残量は充分ですか?	新しい単４形アルカリ乾電池に交換してください。
電源の消耗が早い。	電池の種類は正しいですか?	新しい単４形アルカリ乾電池に交換してください。
	電池が古すぎませんか?	
	電池残量は充分ですか?	
写真がぼやけて写る。	手ぶれを起こしていませんか?	カメラをしっかりと構えて撮影してください。
	レンズが汚れていませんか?	柔らかいレンズクロス等で汚れを拭き取ってください。
	撮影距離は正しいですか?	正しい撮影距離で撮影してください。（製品仕様の撮影距離をご覧ください）

静止画・動画の記録可能枚数／時間

microSDHCカード（4GB）					
静止画			動画		
サイズ	8M	1830 枚	サイズ	VGA 640×480	50分
画質	高画質				

◆撮影の状況・被写体によって記録されるファイルのサイズが一定でないため、記録可能枚数／時間に差が出ます。左記表は目安としてご参考にしてください。
◆microSDHCカード4GBにおける参考値です。

仕様

製品仕様

項目	仕様
イメージセンサー	1／3.2型　CMOS
総画素数	817万画素
有効画素数	約800万画素
レンズ	f=4.8mm　F2.8
35mm フィルム換算	42mm 相当
ズーム	デジタル：4倍
撮影距離	標準　：約 0.5m 〜 ∞ マクロ：約 11cm 〜 18cm
液晶モニター	2.7 型 TFT
内蔵メモリー	ユーザー使用可能領域はありません
外部メモリー	microSD メモリーカード（32GB まで）
ファイル形式	静止画：JPEG　動画：MJPEG（AVI）
静止画サイズ	8M、5M、3M、VGA
動画サイズ	640×480（30fps）、320×240（30fps）
内蔵ストロボ	モード：自動、強制発光、発光禁止 有効範囲：約 1.2 〜1.6m
ISO 感度	自動、ISO100、200、400、800
露出補正	+2.0EV〜−2.0EV（1/3EV ステップ）
電源	単４形アルカリ乾電池（２本）
入出力ポート	USB2.0
寸法（幅×高×奥行）	約 90×59×25mm
重量	約77g　（付属品、電池を除く） 約100g（付属品を含む参考）

パソコン環境

	Windows 対応 OS
	Windows XP（SP3）／ Vista（32bit）／ 7（32bit/64bit）
CPU	Intel Pentium 4 3GHz またはそれ以上
メモリ	1GB 以上（2GB 以上を推奨）
ドライブ	CD-ROM 必須
インターフェース	USB2.0

左記の条件を満たすパソコンが必要となります。
●左記OSがプリインストールされたパソコン
●USBインターフェース（USB2.0以上）を標準装備したパソコン

【動作保証について】

●動作環境を満たすパソコンでも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
●各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。
●USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。
●Mac OSX 10.6.8以降で動作いたしますが、サポート外となります。あらかじめご了承ください。

Kenko Tokina Co., Ltd.
株式会社 ケンコー・トキナー

ケンコー・トキナー ホームページ
http://www.kenko-tokina.co.jp/

本　社 〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19　■広域販売部 東日本営業所　■国内営業部 東京営業所
大阪営業所 〒540-0005 大阪市中央区上町1-2-13　■広域販売部 西日本営業所　■国内営業部 大阪営業所

名古屋出張所　〒460-0008　名古屋市中区栄1-15-6（サカエミヤシタビル1F）
札幌出張所　〒060-0042　札幌市中央区大通西15丁目1-11（北日ビル第2大通405号）
仙台出張所　〒980-0011　仙台市青葉区上杉3-3-21（上杉NSビル2F）
福岡出張所　〒812-0011　福岡市博多区博多駅前3-12-3（玉井親和ビル1-H）